弊社の取り組みについて

有限会社奥進システム 奥脇 学

レジュメ

- 1. 弊社の紹介(業務内容、雇用背景、現状)
- 2. 障がい者雇用のきっかけと配慮
- 3. 障がいのある方を雇用しての感想、課題

1. 弊社の紹介

- 受託ソフトウェア開発業
- お客さんからの要望を聞き、1からプログラムを 製造する。
- 特にWeb技術に特化 (Webブラウザで使用できるもの)
- ・ 顧客管理システム
- 受発注管理システム
- ショッピングサイト

弊社の障がい者雇用への背景

- システム開発=分散開発可能
- 在宅勤務ベース
- SOHO、母子家庭、障がい者

弊社の現在の雇用状況

- スタッフ6名
- 障がいを持つ方:4名頚椎損傷:2名、内部障がい(透析):1名
 - 精神障がい:1名
- 一人親家庭の母親:2名

・ 精神障がい、広汎性発達障がい:2名長期実習中

2. 障がい者雇用のきっかけと現状

- 大阪市障害者職業リハビリテーションセンターからの紹介(2006年)
- ・在宅勤務希望(ここが一番のポイント)
- •「社会と関わっていたい」という強い希望
- 状態はかなり悪く見える。
- ・駄目で元々、3ヶ月施設内実習
- 1週間に1日訪問で力量を見る
- ・効率面、支援がどの程度まで必要か?

1人目、入社時の配慮

- 今までの事務所たたむ(階段だから)
- エレベータのあるパートナーさんに間借り (1週間に1度出社)
- 駅から会社まで付き添い
- ・ 食事、飲み物の用意、室温、書類整備、ノート取り
- 足の移動、尿のつまり、霧吹き等など
- 年一度の家庭訪問

配慮:トラックボール



2人目

- ・職リハの後輩
- 在宅勤務が嫌。それじゃ事務所借りよう。
- ついでに助成金を利用してバリアフリーに改装
- 1ヶ月の実習(事務所の用意が出来るまで)

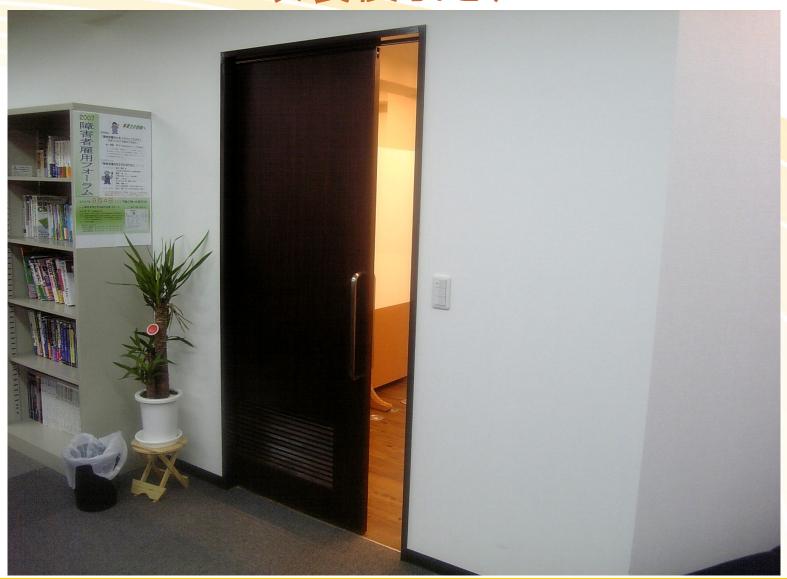
改装前トイレ



改装後トイレ



改装後引き戸



3人目

- 内部障がい(透析)
- 短時間勤務の適用

4人目

- 精神障がい
- ・ 就労移行支援事業所から5ヶ月間の実習
- 振り返り、細かなフォロー
- フォローできるような自社システム開発

3. 障がいのある方を雇用しての感想、課題

- 障がいのある方は十分企業にとって戦力となる
- 障がい者雇用はやってみなけりゃわからない。 特に仕事の領域など。
- 人の問題は机上の空論より、トライ&エラー
- 設備面もその人に合わせた配慮をすれば負担にはならない。
- ・ 中小企業は障がい者雇用の課題より、経営課題 の方が重要。